

【冬期間における水抜き方法】

県営大堤アパート 3号棟(1F)

冬期間、水道管の凍結の恐れがある場合や長期間不在にする場合に行ってください。

◇玄関ドア横のパイプシャフト内、下の階のパイプシャフト内、バルコニーのガス給湯器周りで操作を行います。(一つのパイプシャフトに、2世帯分の設備があります。)

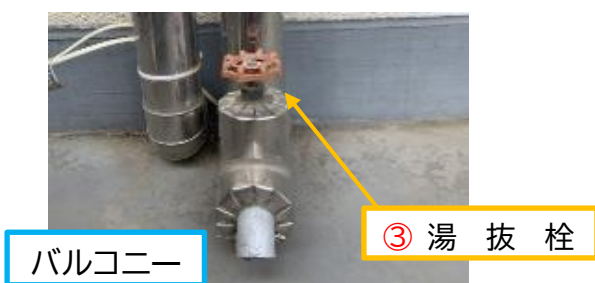
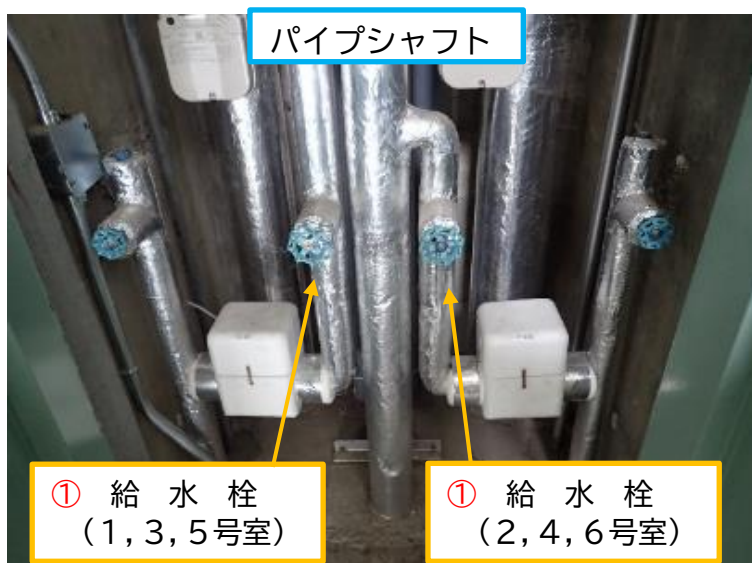
水抜き手順

1. パイプシャフト内の①給水栓を「時計回り」に止まるまで回してください。
2. パイプシャフト内底部の②水抜き栓を「反時計回り」に止まるまで回してください。
3. ベランダにある③湯抜き栓を「反時計回り」に止まるまで回してください。
4. 各蛇口を開き、トイレは一度流してタンク内を空にしてください。
5. 洗濯機に接続の給水ホースは一度取外して水抜きを行った後、元に戻しておいてください。
6. 各蛇口の空気を吸う音と水滴が止まったら、事故防止のため全ての蛇口を閉めておいてください。
7. 2枚目の「給湯器の凍結防止について」をよく読んで、従ってください。

通水手順

1. 各蛇口が閉まっていることを確認してください。
 2. ベランダにある③湯抜き栓を「時計回り」に止まるまで回して下さい。
 3. パイプシャフト内底部の②水抜き栓を「時計回り」に止まるまで回してください。
 4. パイプシャフト内の①給水栓を「反時計回り」に止まるまで回して下さい。
 5. 各蛇口をゆっくり開き水を出します。この時空気も一緒に出ますので飛び散りにご注意ください。
- ※使い始めは濁った水、湯が出る場合がありますので、濁りが無くなるまで流してから使用してください。

※①給水栓、②水抜き栓、③湯抜き栓のハンドル操作は全開、全閉でご使用ください。
中途半端な開閉状態では、漏水の原因となります。



② 水抜き栓
パイプシャフトの底部にあります。
向かって左が1, 3, 5号室、右が
2, 4, 6号室のものです。
※写真は2, 4, 6号室

給湯器の凍結防止について

お住まいのお部屋には、給湯器が設置されております。凍結による故障は自己負担となりますので、先の水抜き操作に加え、以下のことをお守りください。

- ① 冬期間中は、長期不在の場合も、宅内の契約ブレーカーを切らないでください。
また、分電盤内に給湯器及び凍結防止ヒーターの表示があるブレーカーは、絶対に切らないでください。
 - ② パイプシャフト（水道メーターがあるところ）に、凍結防止ヒーターがある場合は、コンセントが差し込まれているか確認し、抜けている場合は差し込んでください。
 - ③ 給湯器のコンセントも抜かないでください。（給湯器本体のヒーターが作動するため）
-
- その他詳細については、各取扱い説明書をご確認ください。
 - 電力の契約解除などを行う際には、事前に住宅センターにもお知らせください。